

企画提案書作成要領

下表（No.の昇順）のとおり、企画提案書を作成すること。
 企画提案書のページ数上限は50ページとすること（表紙・目次は含まない）。
 また、A3サイズを用いた場合は2ページ分としてカウントすること。

No.	項目（タイトル）	作成における注意点	評価項目 ※別紙3 評価基準の 「評価項目」と対応
1	提案の特徴	本提案の特徴を簡潔に示すこと。	実施方針・管理体制
2	プロジェクト管理・ スケジュール （全体工程管理及び個 別プロジェクト管理）	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト管理の手法・体制を記載すること。 業務遅延に対する対策（修正）方法を記載すること。 契約締結から運用開始までのスケジュールを記載すること。 貴社の作業と、本市職員の作業について明確に記載すること。 	実施方針・管理体制
3	機器構成 （仕様・性能要件）	<ul style="list-style-type: none"> 「調達仕様書」に記載のある各パソコンについて、(1)「CPU性能」、(2)「メモリ容量」、(3)「ストレージ容量」、(4)「重量」のスペックは最低限記入したうえで、特徴について説明すること。 「調達仕様書」に記載のある各サーバについて、(1)「CPU性能」、(2)「メモリ容量」、(3)「ストレージ容量」、(4)「RAID構成」、(5)「OS」は最低限記入したうえで、特徴について説明すること。 	機器構成 （仕様・性能要件）
4	現行環境における 課題への提案	<ul style="list-style-type: none"> 「調達仕様書 P.12 5-2 現行環境における課題への提案」に記載されている内容に対する貴社の提案を記載すること。 	現行環境における 課題への提案
5	セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> 総務省の地方公共団体情報セキュリティ強化対策（自治体情報システム強靱化向上モデル）を理解した上で、それらに準拠（NW分離、データベースの持ち出し禁止設定、USBメモリの使用方法等を記載すること）した提案を行うこと。 セキュリティ対策として提案するハードウェア構成、ソフトウェア、周辺機器等について、その構成、特徴、選定理由を示すこと。 人的セキュリティ対策としての提案を記載すること。 それ以外で本システム構築に際し、実装するのが望ましいセキュリティ機能があれば、積極的に提案すること。 	セキュリティ対策
6	閉域ネットワークでの 運用及び資産管理	<ul style="list-style-type: none"> 閉域ネットワークでのウイルスソフト定義ファイルの更新方法や、OSアップデート等についての手法について適切な提案を行うこと。（※自治体情報セキュリティ向上プラットフォームを使用する場合は、その連携にも触れたうえで記載すること） SKYSEAとWSUSの活用方法を記載すること。 	信頼性要件
7	業務継続性（BCP）	<ul style="list-style-type: none"> 可用性・業務継続性の仕組みについて記載すること。 障害発生軽減の仕組みを記載すること 	業務継続性（BCP）
8	保守対応（内容、 体制、対応方法等）	<ul style="list-style-type: none"> 保守業務の内容、保守体制、対応方法、対応時間、役割分担等の保守要件への計画を提案すること。 保守業務について、特に職員の負担軽減につながるような提案を行うこと。（加点要素） 	保守要件充実度
9	障害対応	<ul style="list-style-type: none"> 障害発生時の体制・対応についてを記載すること 障害発生時の対応（駆けつけにかかる時間（最短何分で到着でき、遅くても何日以内に対応できるかを記載すること。） 休日・時間外の保守体制を記載すること 緊急時の保守体制を記載すること 出先機関のハードウェア障害に対する対応を記載すること 	保守要件充実度
10	運用に関する内容・ 提案	<ul style="list-style-type: none"> 貴社が提案する運用内容、方法の概要を記載すること。 「運用保守仕様書」P.17に記載の「運用監視・検知・調査・分析・報告」についての実施内容を具体的に記載すること。 運用業務について、特に職員の負担軽減につながるような提案を行うこと。（加点要素） 	運用要件充実度

※仕様書に記載されている仕様の内容を超える（より良い）提案を行っている場合は、その事が分かるように強調して記載すること。（加点要素）

※図や表を用いるなど、分かりやすい資料の作成に努めること。

※企画提案書の内容が、調達仕様書のどのページに記載されているかを容易に判断できるよう留意すること。

※専門的な用語には、説明を付すこと。